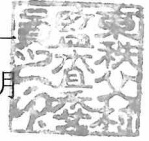


監 第 1 2 号
令和6年9月10日

東秩父村長 高野 貞宜 様

東秩父村監査委員 関根 誠一
東秩父村監査委員 鷹野 明



令和5年度東秩父村公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和5年度東秩父村公営企業の事業会計決算及び関係書類を審査した結果について、東秩父村監査委員条例第6条の規定により、次のとおり意見を付して提出します。

令和5年度 東秩父村公営企業会計決算審査意見書

【審査の概要】

1 審査の対象

- (1) 令和5年度東秩父村簡易水道事業会計決算
- (2) 令和5年度東秩父村合併処理浄化槽設置管理事業会計決算
- (3) その他付属書類

2 審査を実施した期間

令和6年7月30日から令和6年9月4日まで。

【審査の結果】

審査に付された令和5年度東秩父村公営企業（簡易水道事業及び合併処理浄化槽設置管理事業）決算書、損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表、その他付属書類（事業報告書等）、について、諸帳簿及び証拠書類と照合審査し、例月出納検査の結果も考慮して、決算数値は正確であると認めます。

なお、各公営企業会計の決算は、次のとおりです。

1 簡易水道事業会計

(1) 決算の状況

収益的収入及び支出 (単位：円)

区分	予算額	決算額	執行率(%)
事業収益	162,615,000	163,662,331	100.6
事業費用	162,615,000	156,523,112	96.3

資本的収入及び支出 (単位：円)

区分	予算額	決算額	執行率(%)
資本的収入	85,150,000	74,782,000	87.8
資本的支出	111,051,000	95,883,031	86.3

(2) 経営状況

総収益 159,730,660 円（営業収益＋営業外収益＋特別利益）に対し、総費用 150,274,247 円（営業費用＋営業外費用＋特別損失）で、差引き 9,456,413 円の当年度純利益となっています。

(3) 財政状況

資産 1,537,364,126 円に対し、負債 1,180,488,131 円、資本金 307,456,000 円、
剰余金 49,419,995 円であります。

① 資産

資産は、固定資産 1,464,680,884 円、流動資産 72,683,242 円で構成されています。

固定資産は、有形固定資産 1,461,863,684 円、無形固定資産(リース資産) 2,817,200 円で構成され、有形固定資産は、土地 2,555,538 円、建物 18,676,956 円、構築物 1,357,988,247 円、機械及び装置 79,594,070 円、車両運搬具 2,189,773 円、工具・器具及び備品 859,100 円であります。

流動資産は、現金預金 39,420,810 円、未収金 30,482,322 円、貯蔵品(量水器) 2,780,110 円で構成されています。

② 負債

負債は、固定負債 113,436,259 円、流動負債 62,581,515 円、繰延収益 1,004,470,357 円で構成され、固定負債は、企業債 112,356,259 円、リース債務 1,040,000 円、営業保証金 40,000 円であります。

流動負債は、企業債 12,395,677 円、リース債務 1,777,200 円、未払金 48,408,638 円であります。

繰延収益は、長期前受金 3,961,489,812 円、収益化累計額▲2,957,019,455 円であります。

③ 資本金

資本金は、307,456,000 円であります。

④ 剰余金

剰余金は、資本剰余金 18,974,031 円、利益剰余金(当年度純利益) 30,445,995 円
であります。

(4) 施設の利用状況

項目	比率 (%)	備考
施設利用率	63.0	1日平均配水量 836 m ³
		1日最大配水能力 1,327 m ³
最大稼働率	82.6	1日最大配水量 1,096 m ³
		1日最大配水能力 1,327 m ³
負荷率	76.3	1日平均配水量 836 m ³
		1日最大配水量 1,096 m ³

(5) 財政分析比率

項 目	比 率 (%)	備 考
自己資本構成比率	23.2	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延資産}}{\text{総資本 (資本} + \text{負債)}}$
流 動 比 率	116.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
現金預金比率	63.0	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$
減 価 償 却 率	4.5	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}}$
經常収支比率	106.3	$\frac{\text{經常収益}}{\text{經常費用}}$
營業収支比率	27.4	$\frac{\text{營業収益}}{\text{營業費用}}$
自己資本比率	23.2	$\frac{\text{資本合計}}{\text{負債合計} + \text{資本合計}}$

2 合併処理浄化槽設置管理事業会計

(1) 決算の状況

収益的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
事業収益	43,392,000	41,276,553	95.1
事業費用	46,896,000	43,961,441	93.7

資本的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
資本的収入	17,634,000	11,885,800	67.4
資本的支出	21,717,000	13,604,265	62.6

(2) 経営状況

総収益 39,516,318 円 (営業収益+営業外収益+特別利益) に対し、総費用 42,189,560 円 (営業費用+営業外費用+特別損失) で、差引き 2,673,242 円の当年度純損失となりました。

(3) 財政状況

資産 277,346,746 円に対し、負債 221,291,204 円、資本金 42,890,000 円、剰余金 13,165,542 円であります。

① 資産

資産は、固定資産 263,223,767 円、流動資産 14,122,979 円で構成されています。

固定資産は、有形固定資産 (構築物) 262,599,767 円、無形固定資産 624,000 円であります。

流動資産は、現金預金 7,699,548 円、基金預金 3,724,000 円、未収金 2,699,431 円で構成されています。

② 負債

負債は、固定負債 63,817,858 円、流動負債 11,698,233 円、繰延収益 145,775,113 円で構成され、固定負債は、企業債 63,537,858 円、リース債務 260,000 円、営業保証金 20,000 円であります。

流動負債は、企業債 7,213,192 円、リース債務 312,000 円、未払金 4,173,041 円あります。繰延収益は、長期前受金 233,441,603 円、収益化累計額▲87,666,490 円あります。

③ 資本金

資本金は、42,890,000 円あります。

④ 剰余金

剰余金は、資本剰余金 14,095,894 円、利益剰余金（当年度純損失）△930,352 円
であります。

(4) 施設の利用状況

項目	数 値	項目	数 値
行政区域内人口	2,445 人	排水・処理区域内人口	952 人
浄化槽設置基数	363 基	—	—
計画処理能力 (m ³ /日)	921	現在処理能力 (m ³ /日)	525
平均処理水量 (m ³ /日)	525	年間総処理水量 (m ³ /日)	191,625

(5) 財政分析比率

項目	比 率 (%)	備 考
自己資本構成比率	20.2	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延資産}}{\text{総資本 (資本} + \text{負債)}}$
流 動 比 率	120.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
現金預金比率	65.8	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$
減 価 償 却 率	4.7	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}}$
経常収支比率	94.2	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$
営業収支比率	46.4	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}$
自己資本比率	20.2	$\frac{\text{資本合計}}{\text{負債合計} + \text{資本合計}}$

【審査の意見】

1 簡易水道事業会計

簡易水道事業会計については、水道施設遠方監視システム更新工事として、村内13か所の水道施設にて監視システム機材の入替を行っています。水道料の未収金について、現年度分は470件で1,338,720円になります。前年度（475件で1,643,072円）と比較すると、5件304,352円減少しています。

水道施設遠方監視システムの更新によって、無線通信方式に変更になり、監視の精度が向上しています。24時間365日の即応体制を支える担当職員の責任感を高く評価します。しかし、複数の水道施設管理を担う負担の大きさから、職員体制の強化・見直しも検討してください。また、料金回収率が39.8%と低い数値であり、水道料金の見直しに取り組んでください。

2 合併処理浄化槽設置管理事業会計

合併処理浄化槽設置管理事業会計については、浄化槽建設費として、7人槽2基を設置しています。浄化槽使用料の未収金について、現年度分は、5件で65,505円になります。前年度（5件で59,150円）と比較すると、件数は変わらず、金額は6,355円減少しています。

簡易水道事業会計と同様に一般会計補助金への依存度が高いことから、浄化槽使用料の見直しに取り組んでください。